

富津事業所新富支所前期飼育水槽塗装改修工事 仕様書

1 工事内容

富津事業所新富支所の前期飼育水槽全4基について、各種配管を外した上で素地調整と下地調整を行い、ポリウエア樹脂スプレーライニング工法により防水塗装を行う。

また、コックや配管支持材を含む水槽内エア配管の更新を行う。

2 規格及び数量等

(1) 現状確認

富津事業所新富支所前期飼育水槽塗装改修工事を行うにあたり、敷地形状やピット及び水槽構造等により使用できる機器や作業車両、足場等に制限が生じる可能性があるため、積算前に必ず現場確認を行う。

また、本塗装改修工事は各水槽縁部に掛けられた橋桁接地面についても実施するため、確実に既設物の構造や寸法等の確認を行うこと。

(2) 既存配管脱着（エア配管改修）

水槽内、水槽縁部及び塗装に干渉する配管類（保温管及びエア配管）について、支持材等の付属品を含めてすべて外し、塗装が完了した後に取り付けること。なお、支持材の取付けについては、水槽面のボルトやビス等の穴あけ個所からの塗装剥離や躯体コンクリートへの浸水等が生じないように、適切に処置すること。

保温管類については、支持金具やラッキングなどすべて再利用するため、適切に保管すること。

また、水槽内に設置されていたエア配管類（VP25）については、コックや支持材を含むすべてを更新すること。なお、コック設置角度等については、公社職員の指示に従うこと。（別紙の水槽配管図を参照すること）

保温管・エア配管の取付け完了後、必ず動作確認を行うこと。動作異常が確認された場合は、必ず対処すること。

(3) 素地調整及び下地調整

水槽縁部や縁端部を含むすべての既存塗膜を確実に除去すること。なお、塗膜除去前に各水槽の壁面にある水位線の位置を確実に記録し、防水塗装後に書き直すこと。

（水位線の間隔・水槽壁面からの高さについては、水槽ごとに異なるため注意すること）

既存塗膜の除去後、水槽破損個所や凹部が見られる個所等についてはカチオン樹脂モルタルを用いて平滑にすること。なお、鉄筋が露出している個所については、ケレン後に防腐剤の塗布を行った後でカチオン樹脂モルタルを用いて平滑にすること。

なお、水槽縁部の橋桁接地面についても、橋桁を吊り上げる等の処置の上、確実に既存塗膜の除去と下地調整を行うこと。

(4) 防水塗料塗布

塗装面すべてにプライマー塗布を行った後、ポリウエア樹脂防水塗料のスプレー塗布の上、トップコートを塗布すること。プライマーを含む各種塗料の塗布個所については、別紙の施工断面図を参照すること。

使用するポリウエア樹脂塗料については、(株)ダイフレックス社製のレジテクト、工法はレジテクトBT-JW工法同等以上の防水・防食・保護性を有したものとし、ポリウエア樹脂の膜厚（施工厚）は1.8mm以上、膜厚不足やピンホール等の塗装不良個所は必ず的確に処置すること。なお、使用する各種塗料については未使用品とし、他所の防水工事等で使用した使いかけの塗料の使用は認めない。

また、ポリウエア樹脂塗装に際して使用するプライマーやトップコート及び塗装器具については、ポリウエア樹脂メーカーが定めるものを使用することとし、塗装開始前に必ず公社職員による各種使用塗料の現物確認を行うこと。使用する各種塗料量についても、メーカーが指示する規定量同等以上とすること。

(5) その他

工事で生じた塗膜や破砕物等は環境に配慮し、適切に撤去・処分すること。また、生物を飼育する施設であるため、粉塵等の飛散防止や周辺養生についても的確に実施すること。

コンクリートに下穴を開けて鉄筋やボルト等を打ち込むときは、必ずケミカルアンカーを用いて固定し、鉄筋等の金属部位が腐食しないように施工すること。

SUS製の金属部品を使用する際は、304同等以上の防食・防錆材を使用することとし、金属部品同士が接触する箇所については、電食が発生しないように素材の選定・施工すること。

また、作業中及び作業完了後の当公社職員の立会・確認で不備等を指摘された際は、必ず指摘された問題を解決（改善）すること。

コンセント電源（100V）や高圧洗浄機を使用する際は、公社所有物を貸し出し可能。

3 場 所

公益財団法人 千葉県水産振興公社富津事業所新富支所

（千葉県富津市新富25 TEL：0439-87-1441）

4 施工完了期日

令和3年11月30日

5 作業中の安全確保

作業にあたっては、保護具の装着等により、作業員の安全確保に万全を期すこと。

6 報告書の提出

- (1) 完了報告書
- (2) 作業写真（使用した塗料が分かる写真を必ず入れること）
- (3) その他契約書により定める書類

設計書

名称	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
富津事業所新富支所前期飼育水槽塗装改修工事						
素地調整工	1～2 mm程度	1	式			
既設温水菅脱着	エアー配管更新含む	1	式			
下地調整	カチオン系樹脂モルタル塗布	668.84	m ²			
ポリウエア樹脂スプレーライニング	トップコート仕上げ レジテクト BT - JW 工法	631.92	m ²			
飛散防止・周囲養生		668.84	m ²			
産業廃棄物処分		2.68	m ³			
交通費・諸経費		1	式			
小 計						
消 費 税						10%
合 計						